

持明院「はすの会」事務局

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1

大阪駅前第一ビル9階

株式会社高野山寺月会

電話：06-6348-0530

FAX：06-6348-0170

メール：renraku@hasunokai.jp

H P：www.hasunokai.jp

# はすの会 会報 No.71

令和8年(2026年)3月1日発行

平成8年(1996年)11月1日初版発行



## 「空海」と「嵯峨天皇」の一人の絆

平安時代の初期、第五十二代嵯峨天皇（桓武天皇の第二皇子）と真言宗の開祖である空海（弘法大師）は、日本の歴史と文化に深い影響を与える密接な関係を築き上げました。遣唐使として唐に渡り、大陸文明と日本文明の結びつきを達成した空海は、国家鎮護の願いを託す宗教（真言密教）を単なる信仰の対象だけではなく、國家の安全と発展に深くかかわる存在であり、国家の運営においても不可欠な存在にしました。

この時代（平安時代の初期）、文明と呼べるのは、唐（大陸）にしかなく、桓武帝（エネルギーに満ちた専制君主）は国家の在り方を唐に真似ておこなっていました。当時、平城京（奈良）は、皇室の凶変、濫費が多く、また時の官僚に振り回されたり都の呈を為さず、長岡に遷都（十年）を試み、後、平安京（京都）に遷りました。表向きは、「水陸の便を以つて都をこの地に遷す」と口実を設けていました。また、空海の在唐中、桓武天皇のご崩御があり、帝は皇太子平城天皇（安殿親王）に移りましたが、病弱の上、皇室の凶変の後、即位三年足らずで第二皇子嵯峨天皇に譲位されました。

が深くかかわる重要な存在とみなされ、天皇（嵯峨）と高僧（空海）が協力し合うことは不可欠でした。嵯峨天皇と空海の関係はまさにこのような時代の背景の下で生まれ、政治が育まれ、一個人の天才としての仏教徒と新たな関係を築く象徴となりました。嵯峨天皇と空海の関係は、まさに「臣従」を越えた緊密なものであつたといわれています。



嵯峨天皇（七八六～八四二）は、平安遷都後の混乱を收拾し、安定した政治基盤を築きました。

○律令制度の再構築――地方支配の強化

○書道や詩文にも造詣が深く、文化の向上にも力を入れる――特に仏教の過度の介入を避けられる

○天皇と高僧が相互協力して国を導く新しい関係を作る

○空海・最澄等節度と才能ある構想を重用する――それぞれの特質に応じ、国家鎮護の役割を託す

庶民の信仰を集められました。



こうした二人の関係は、今の社会にも「信頼と協力」が最も大切で必要な事を私達に教えてくださっています。

南無大師遍照金剛



東寺 慶賀門側から望む五重塔

ご

挨

拶



別格本山持明院  
住職・竹内 崇真

お大師様（弘法大師）は香川県善通寺市でお生まれになりました。若き日のお大師様は、四国各地で修行に明け暮れたとご自身がお記になつておられます。この修行の場所が現在でも四国八十八ヶ所霊場として残つております。多くの「お遍路さん」が巡礼をしております。

なぜ、遍路を行うのでしょうか。一つ目には、お大師様が修行した地を巡る修行。四国を一周するのは大変です。私も若い頃に40日余りをかけて歩き遍路を行いましたが、最初の頃は足の豆が潰れたり、急勾配の登山に難儀をしたりと様々場面で心を試される事がありました。しかし、地元の方の手厚いお接待に感動し、南無大師遍照金剛と心で唱えながら一歩一歩進んでいた道を今で

思い出します。この大変な経験で自分の体と心を鍛えるのであります。もう一つは、遍路によつて仏様の御功德を頂き、願いを叶えて頂くというものです。家族の供養、自分や家族の病気や苦難等の苦しみを救つてほしいなど様々な願いを仏様に願掛けをし、無事に八十八ヶ所を踏破した暁には願いが叶う（結願する）という信仰です。多くのお遍路さんはこちらになると思います。自分たちではどうすることも出来ない困難に立ち向かうとき、仏様のお力を借りたいと願うのは、仏教徒であれば当然であります。そして、この遍路にはお大師様が常にご一緒に歩いて下さる「同行一人」という有り難い功德があります。一人で困難に立ち向かうのでは無く、お大師様が共に引導下さるのであります。

また、最古の巡礼として有名な西国三十三觀音巡拝がございます。

「觀音經」というお經に觀音様（觀自在菩薩様）が33の姿で全ての衆生をお救いになるという内容から出来た巡礼です。こちらも、三十三のお寺を回ることで様々な願いや苦しめから救つて頂く修行です。

持明院には四国霊場お砂踏み場・

## 南無大師遍照金剛

合掌



西国三十三觀音巡拝所がございま出来ない方のための靈場です。時間や様々な事情により、遍路や巡礼をしたいが出来ないという方は少なくないと思います。平成元年に持明院443世住職竹内崇峯大僧正が発願をしてこの靈場を開きました。四国の靈場全てからお砂を頂き、仏師に仏を彫つて頂きました。併せて西國のお寺を遙拝出来る靈場を創られました。

この靈場の願いは、多くの方がお大師様のお膝元である高野山で四国と西国のお功德を頂き、所願を成就し心を清淨で正しくなされる事であります。決して樂をして多くの功德を頂けるといった浅い考えのものは無く、深い慈悲の心の下で正しい功德があります。一人で困難に立ち向かうのでは無く、お大師様が共に引導下さるのであります。

また、最古の巡礼として有名な西国三十三觀音巡拝がございます。

「觀音經」というお經に觀音様（觀自在菩薩様）が33の姿で全ての衆生をお救いになるという内容から出来た巡礼です。こちらも、三十三のお寺を回ることで様々な願いや苦しめから救つて頂く修行です。

とある会員様の厚いご支援で、会員様の大切な位牌や五輪塔、やすらぎ五輪塔を安置している仏舎利宝塔地下安置室の照明を旧タイプのLED電球から最新のLED電球に交換する改修工事をさせて頂きます。工事は2~3室ずつ、数回に分けて行う予定です。この改修により、暗く感じられた箇所も明るくなり、より快適にご参拝いただける環境を整えてまいります。

また、最新のLED電球は照明の明るさと省エネルギー効果により、会員様が気持ちよくお参りできる空間づくりを目指します。

工事期間中も通常通り持明院の高僧が毎日ご供養（読経）いたします。また、会員様も変わらずご参拝いただけますのでご安心ください。

今後もはすの会では、会員様のお気持ちに寄り添い、大切なご先祖様を永代にわたりご供養してまいります。

会員の皆様に是非、ご参拝の前後等にお参りを頂き、益々の御功德を得て頂ければと思います。

仏舎利宝塔改修工事照明を改修

# ここらの玉手箱

## 『写経』

大阪府 N 様

でござります。お忙しい中お付き合い頂きまして有難うございました。

写経に関しまして、少しお話させて頂きます。

事の始まりは亡夫の供養になればと八十八ヶ寺巡礼でございました。（阪急交通社のバス巡礼です）

一巡回は作法も知らず、唯々導かれるままでした。二巡回からは、少しずつ様子もわかり、写経の納経をしながらの巡礼となり、三巡回最後のバスで不思議な

N様とは17年の付き合いになりますが、その間に数回数十巻の写経をお送り頂いております。仏舎利宝塔礼拝室に奉納させております。このことがN様、またはすの会会員様への功德となつておると、確信致しております。千巻成就を願っております。

## 『ちぎり絵』

光本 純子 様

いつも可愛く素敵な

作品をお送り頂きます。

昭和10年生まれの

光本様は今もお元気

です。材料選びから完

成まで全ての制作活動

を一人で行っています。

連絡手段としてLINEも使いこなす程

です。

どうかこれからも素晴らしい作品をお作り頂き、周りを元気にして下さい。

（スタッフ 前田）



新しい年を迎えるが、私も満八十八才、目標を達成できるかどうか？心許ない事ですが、今少しお力を貸し頂きたく宜しくお願い申し上げます。

どうかこれからも素晴らしい作品をお作り頂き、周りを元気にして下さい。

（スタッフ 前田）

振り返れば十余年の月日が経つていて事にも日々驚いています。

（スタッフ 前田）

経過して筆は全く上達せず、これ迄一巻として満足に仕上がった巻はございません。仏陀もあきれておられる事と思いま

す。

お恥ずかしい事ですが、月日ばかりが

（スタッフ 前田）

とても唯々驚いています。

（スタッフ 前田）

## 宝塔内礼拝室を模様替え



この度、仏舎利宝塔 地下礼拝室正面の焼香台の敷物を新しくしました。これまでの赤い難燃フエルト生地から、あたたかみのあるゴールド難燃生地に変わっています。

寒い日や暑い日、またお足元の悪い中でもいつもご参拝くださっている会員の皆様へ、感謝の気持ちを込めての新調です。

また安置場所照明改修のご支援頂きました会員様より、この度仏舎利宝塔礼拝室に重厚で莊厳なおリンも贈呈いたしました。永代にリンの音がご先祖様、故人様に響く様にと願いを込めたおリンです。どうぞ皆様ご参拝時に鳴らして頂き、おリンの音を感じて頂ければ幸いです。

ささやかな変化ではありますが、ご参拝の折には是非ご覧いただけたらと思います。

## はすの会ヴァーチャル永代供養

令和七年六月一日～令和七年十月

三十一日までにご入会された方につきまして、新たにヴァーチャル永代供養の閲覧が可能になりました。

（※奉賛五輪塔・冥福五輪塔をお申し込みで未建立の会員様・存命者のみの会員様を除きます）

「ヴァーチャル供養に感動しました」との声や、新規会員の方からの閲覧開始を待ち望む声も頂いており、私達スタッフもとても嬉しく思っております。

今回右記に該当される会員様へは、会員番号と暗証番号を記載した用紙を同封しましたので、是非ご利用ください。

操作方法に不安のある方・ご自身の供養碑を見るための会員番号や暗証番号がご不明な場合は、はすの会までお気軽にご連絡ください。

## インスタグラム・フェイスブック 始めました！

この度、インスタグラムとフェイスブックを始めました。

はすの会の情報はもちろんのこと、高野山や近隣の市町の観光情報やおすすめグルメなど、幅広い情報を写真や文章でお伝えしていますので、ホームページと併せて是非ご覧ください。



Instagram



Facebook

# 春季合同法要のご案内

今年も春季合同法要の季節がやってまいりました。静かな空気に包まれたこの特別な場所で、日々の忙しさから少し離れてご先祖さまや大切な方を偲ぶ時間を過ごしてみませんか。

手を合わせる中で、日々の暮らしへの感謝やご自身と向き合うひと時となれば幸いです。

是非高野山へお参りください。  
お参りください。



◆日 時  
令和8年3月20日(金・祝)

12時30分～13時10分頃

(法要時間約40分・集合12時15分)

◆場 所  
持明院・本堂  
(和歌山県伊都郡高野町高野山455)

◆ご参加  
自由・予約不要

◆法要料(参加費)  
無料

(ご希望によりお布施は受け付けております)

◆佛舎利宝塔の参拝時間  
10時～15時30分まで

●ご親族だけでなく、ご友人なども参加いたします。

●法要の前後に佛舎利宝塔の参拝もできます。

高野山駅からはバスで約20分  
(タクシーで約10分)

高野山駅

「奥の院前」方面  
バスに乗車 20分

高野山駅

持明院  
バス停より1分

れんげだい  
蓮華谷

仏舎利宝塔  
バス停より3分

奥の院前  
(終点)



南海電鉄 天空 特別サイト

南海電鉄 高野線 時刻表(土休日ダイヤ)	
行	高野山駅発 難波着
き	8:13 10:07
8:36 10:29	
こうや5号 9:00 10:40	
9:02 10:50	
9:23 11:12	
天空1号 9:36 11:29	
こうや7号 10:00 11:42	
10:02 12:20	
帰	高野山駅発 難波着
13:50 15:56	
14:24 16:22	
14:47 17:02	
こうや2号 15:10 16:50	
15:26 17:22	
15:52 18:02	
こうや4号 16:14 17:51	
16:31 18:23	

●持明院でご昼食を希望される方は、あらかじめご予約が必要です。

3/16(月)までにお申し込みください。

精進料理・お一人様 2,200円(税込)

お子様向けも同額でご用意できます。

●高野山は平地と比べ5～6℃気温が低く冷えることがありますので、羽織るものをお持ちください。

●持明院でご昼食を希望される方は、あらかじめご予約が必要です。

3/16(月)までにお申し込みください。

精進料理・お一人様 2,200円(税込)

お子様向けも同額でご用意できます。

●当日は12時30分からはじまりますので、15分前までに受付をお済ませください。

●持明院の駐車台数は限りがございますので、できるだけ電車・バスでお越しください。